

23～24 年度 第 1 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 23 年 6 月 22 日 (水)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・×樋口(雅) ・○諸井 ・×有泉 ・○渡部 (旧委員) ○芝副会長・○西倉・○松崎・○野口・○荒谷 ○上原会長		
1. あいさつ 上原会長、芝副会長、小林副会長より 2. 自己紹介及び委嘱状授与 (会長より) ・各自自己紹介を行い、会長より委嘱状の授与を行った。 2. 各種報告 明治大学 菊池先生からのアンケートについて ・回答を行っていない方は、回答協力をお願いした。 「建築士定期講習」の実施日：12/12 (受付予定：8 月～10 月) ・未受講の方は、この機会に申込をお願いした。また、知り合いに未受講者がいたら、情報伝えて欲しい。 その他 ・7/4 被災度区分判定基準講習会の案内を配布。技術調査委員会が担当なので、申込及び手伝いをお願いした。 3. 議 題 (1) 前年度よりの引継ぎ事項 講習会、見学会等の開催及び運営について ・自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会の実施 (早い段階で行いたい) 建築における環境問題について <平成 21 年～22 年度の実績> 構造標準図、意匠特記仕様書の改訂 工事監理チェックリストの作成 環境をテーマとした研修会の実施 上記について、前委員長の西倉氏より説明及び報告された。 また、構造標準図、意匠特記仕様書、工事監理チェックリストがホームページ上にアップされていることを知らない会員がいるので、再度、広報誌等を利用し P R していくこととした。 (2) 今年度事業について 委員会の開催方法について ・原則、第 3 木曜日 15:00～ とし、新技術の紹介 (メーカー等による勉強会) 等があった場合は、14:30 からとした。(説明等の時間は、1 時間程度) また、内容が良ければ、ブロック等にお知らせし、ブロック等で勉強会をする等活用して頂く。 今後の日程：7/19、8/18、9/15、10/20、11/10、12/15 予算等の説明 ・この予算案は、22 年度に想定したものであり、内容等については実情に合ったものとして欲しい。 ・2 年間で実績が出せるようにテーマ別に部会を編成し、効率的に委員会を開催したい。 次回までにこの委員会でやりたい事等の提案を出すようお願いした。 神事協フェアの実施協力等について			

- ・現状での企画書をもとに説明。当委員会は、セミナー部会の担当であり、各委員会等からのセミナー希望を調整し、実施する重要な役目を担っているため、新旧委員の皆様の協力が必要であるので、宜しくお願いします。
- ・当委員会の予算は、現在 30,000 円しかないことを報告。
→ この予算では限られた活動しか出来ないため、想定予算を委員長が作成し、実行委員会へ提出することとした。
- ・セミナー会場は、訓練センターの第 2 教室（120 名）と第 3 教室（50 名）の使用ができ、第 2 教室は、本会関係で第 3 教室を賛助会が使用する予定。
- ・現在までに各委員会から行いたいセミナーについては、下記があり、スケジュール表に落として実行委員会に提出することとした。

設計監理指導委員会：9/9 午後 調査鑑定事務所必修研修会（3 h）

技術調査委員会：消費者向けと技術者向けの 2 コマ（9/9：1 回、9/10：1 回）
外来材と国産材のエコマイレージの話（簡単に分かり易く説明して欲しい。）
→ カーボンオフセット、ウッドマイルズ（全木連 藤原常務）
液状化対策の話（専門家向け）・宿谷先生の講習 → 白石委員が打診する。

企画業務委員会：フランクロイドライトの映画「摩天楼」（120 分）の上映

棕副会長：宮城会へ「宮城の現状」についてのセミナー（報告会）の実施について依頼している。
日程としては、9/9 及び 9/10 の両日を考えている。

「住・緑・家」運営特別委員会：「住・緑・家」の P R 9/10

木造特別委員会：9/10 主に一般向けの伝統工法に関するセミナー（1 時間 講師：内田委員）

キャンペーン：セミナー「安心して家を建てるには」

賛助会：7 社
液状化対策等のセミナーの実施（賛助会）

（3）その他

白石委員より資料の提供があった。

- ・宿谷 昌則氏「約束ごとの話」「原子力発電」
- ・原子とはどんなもの
→ 最低この程度の知識はもっておくべきである。

逗子市のプロポーザル参加者のプレゼン方法等の発表等について（上原会長より）

- ・委員長会へ議題として提出する。

6/3 開催の環境省エコハウス見学会の収支報告

- ・赤字になってしまったので、今後は周知徹底等をもっと行う必要があるため、協力をお願いした。

23～24 年度の技術調査委員会名簿については、追記・修正があれば連絡をお願いした。

次回 平成 23 年 7 月 19 日（火）15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 2 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 23 年 7 月 19 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・×樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・×諸井 ・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 小林副会長より 2. 各種報告 菊池先生からのアンケートについて 81 回答を送付 前回議事録の確認 その他 各種講習会等の案内を配布。 3. 議 題 (1) みらいふれあいフェスティバル 2011 について (賛助会：小沼氏、安藤氏 同席) セミナー部会報告 (7/8、7/14 開催) ・賛助会、委員会、その他の団体よりセミナー実施の申し込みがあり、第 1 教室と第 3 教室に振り分けて案を作成し、実行委員会へ提出した旨を玉田委員長が報告。 ・今回は、8/1 に開催される。 ・検討頂きたい事項 セミナー教室にはる看板の作成 セミナーのめくり看板の作成 現在実施しているセミナー等をお知らせする看板の作成 ・防災シンポジウムについては、正式に依頼文を送付すること。 また、何人くるのか？、宿泊費等についてはどうするのか？ 当委員会主催セミナー ・「ウッドマイルズ」、「カーボンオフセット」((社) 全国木材組合連合会 藤原常務) ブース出展の内容について (担当：白石委員、樋口(雅)委員) ・我が家の燃費を CD-ROM にて配布する。(内容を一般向けの分かり易いものに変更する必要あり) ・EPR についてのパネル展示 ・節約についてのパネル展示 ・エネルギーの話という冊子 (絵本) の「省エネ・環境版」(670 円) を購入して配布しては？ → 予算が無いので、実行委員会に提案し、回答をもらうこととした。 当日の担当内容及び担当者について ・会場設営と備品管理及び受付を主に行う。 ・司会は、各セミナーの担当者に行って頂くこととした。 ・フランクロイドライトの映画上映については、芝副会長に担当をお願いすることとした。 ・賛助会のセミナーについては、全て賛助会が担当して頂くこととした。(賛助会了承済み) ・当日の担当割表については、玉田委員長が案を作成することとした。 ・人手が足りない場合は、支部へ手伝いを依頼する。 9/9：玉田、白石、樋口(和)、大和田、渡部 9/10：永田、神永、諸井、樋口(雅)、有泉 (2) 自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会の開催について ・10 月中旬～11 月中旬に予定する。 ・赤字のセミナーは開催できないので、南さんの講師料について、本人へ打診してみる。(担当：磯部)			

(3) 見学会の企画について

- ・提案があれば随時出してもらうこととした。

(4) 建築における環境問題について

- ・白石委員より資料提出及び説明があった。
宿谷昌則氏の「放調と涼房」について
参考書籍「エクセルギーと環境の理論」編著 宿谷昌則 (北斗出版 3,150 円)
- ・範囲が広いので、テーマを提案してもらうこととした。
- ・テーマ別に資料をまとめる。
- ・技術的 (日常的な業務) なもの、疑問点等を抽出して研究する。

(5) 今後の活動内容の提案

- ・会員へフィードバックできる内容とする。
- ・地盤関係をテーマとした研究の準備をし、2年でまとめて冊子の作成等を行うことを目標とする。
内容は、活断層、液状化マップ、地域性等も考慮した内容が考えられる。

(6) その他

- ・明治大学菊池先生の研修について 名称「21世紀の安全保障を考える」
今回の地震の件も内容に入っている。
→ 内容を見て、研修等の実施を検討することとした。

次回 平成23年8月18日 (木) 15:00 ~ 17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第3回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成23年 8月18日(木)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・×永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・×大和田 ・○樋口(雅) ・○諸井 ・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 小林副会長より 2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 各種講習会案内を配布。 3. 議 題 (1) みらいふれあいフェスティバル 2011 について 当日の担当割(案) ・9/9 9:00 日本丸訓練センターに集合。 ブース担当者：白石、樋口(和)、大和田 セミナー担当者：玉田、渡部 ・9/10 9:30 日本丸訓練センターに集合。 ブース担当者：樋口(雅)、有泉、諸井 セミナー担当者：永田、神永 当委員会主催セミナー「ウッドマイルズ」について ・講師：(社) 全国木材組合連合会 藤原常務 8/26 11:00～打合せ(玉田委員長、磯部) ブース出展について(担当：白石委員、樋口(雅)委員) ○出展内容：EPRについてのパネル展示、節約についてのパネル展示。 → 担当：白石委員 ・A2パネルで掲示する。 ○我が家の燃費をCD-ROM 作成(データは?) → 担当：樋口(雅)委員 ・CD-ROM 20枚作成(磯部) 取扱い説明書の作成、簡易入力シート作成(樋口(雅)委員) ・呼び込み看板作成及び設置：「家の燃費を調べませんか!!」を用意する。 ○エネルギーの話という冊子「省エネ・環境版」(670円)を購入して配布に関して ・4万円を予算として計上するので、「エネルギーのせつやく」、「水をたいせつに」の2冊子についてどの程度購入出来るかを白石委員に調整頂くこととした。 (2) 「既存住宅の省エネルギー改修講習会」の開催について 日時：平成23年11月 2日(水) 13:00～18:30 会場：横浜市技能文化会館 多目的ホール 講師：南 雄三氏 ・案内文を短くする。 ・テキスト代の表記を削除。 ・質疑を行う時間を設ける。 ・途中で申込者の人数を各委員へ報告する。 ・講習受講者向けに、実践向けの勉強会(ワークショップ)を2月頃に開催予定とする。 ・身近な事例(耐震改修やリフォーム)の省エネ上の分析や支援等の前向きな検証を行いたい。			

- ・省エネの技術は日進月歩なので、設計者は知らないといけない。

(3) 見学会の企画について

- ・「住・緑・家」運営特別委員会とのコラボ企画も可能。

(4) 建築における環境問題について (テーマの提案)

- ・会員へ還元出来るもの。
- ・環境 (省エネ) についての各種補助金の情報を収集しては？

(5) 今後の活動内容の提案

- ・スケジュールとしては、23年度に内容を決定。24年度に担当を決め、年度末までに報告書等を完成させる。

(6) その他

- ・泡の断熱材 アイシネンの説明を聞きたい。時間：14:30～15:30
神永委員に調整をお願いした。

次回 平成23年9月15日(木) 説明会があった場合、14:30～17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 4 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 3 年 9 月 1 5 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 × 小林忠志 ・ ○ 玉田委員長 ・ ○ 永田副委員長 (委員) ○ 神永 ・ × 白石 ・ × 樋口(和) ・ ○ 大和田 ・ × 樋口(雅) ・ × 諸井 ・ × 有泉 ・ ○ 渡部		
< 発砲ウレタン系断熱材 アイシネンの説明 > キングラン・ハウズ(株)、(株)アイネン アジア・パシフィックより			
< 会 議 >			
1 . あいさつ 玉田委員長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 その他 講習会案内を配布。参加協力等のお願いをした。			
3 . 議 題			
(1) 「みらいふれあいフェスティバル 2011」の反省 (報告書の作成含む)			
・「エネルギーをせつやく」20 冊配布。「水をたいせつに」25 冊配布。 ・「家の燃費」CD-ROM 12 枚配布。 ・「ウッドマイルズ」セミナーは、50 名参加者がいたが、内容が難しかった。 ・条件、制約が厳しい会場なので仕方がないが、集客するには、飲食物等で人を釣らないとダメ。 ・場所が悪い。 ・本来の委員会活動が出来ない。 ・展示ブースは来客が少なかった。 ・報告書については、白石委員より写真をもらうこととした。			
(2) 「既存住宅の省エネルギー改修講習会」の開催について			
日時：平成 2 3 年 1 1 月 2 日 (水) 13:00～18:30 会場：横浜市技能文化会館 多目的ホール 講師：南 雄三氏 司会：白石委員、開会挨拶：上原会長、閉会挨拶：小林副会長 手伝い：委員全員 当日は、12:50 に会場へ集合することとした。			
(3) 見学会の企画提案について			
・震災をテーマとした内容にしては？ 液状化の現場：浦安市等 (千葉会に状況視察が可能か、聞くこととした。) 断層の現場 (横須賀等)			
(4) 建築における環境問題について (テーマの提案)			
・太陽光発電 3.6kw のもので、5 年で元が取れるようだ。 ・燃料電池 → 水のみで可能か？			
(5) 今後の活動内容の提案			
・会としてのメインテーマを決めて活動すべき。「まちづくり 家づくり 防災の備えは」とした場合、避難、誘導、データ保存、安否の確認等の方法等が考えられる。 → 地震対策になる。 ・事業継続計画 (B C P) 神事協としての計画 各個別事務所としての計画			

- ・防災対策、環境問題についての企業を対象とした研修会の開催（建築家からの提言）
→ 横須賀ミーズで開催済み
- ・「防災の備え」をテーマとして考えて行っは？（環境等も含めたもの）
神事協と市町村の首長との懇談会を開催しては？（行政との協力体制等について）
- ・今後はコンサル業務が増えるのでは？

（６）その他

１０月の新技術紹介は、(株)マツナガを推薦します。商品は全て、エコ関連です。
 1-セルローズファイバー断熱材、責任施工が特徴。
 2-省エネ型 24 時間換気システム。3-ソーラー技術で、電気代ゼロの暖房システム。

→ 内容は了解されたので、白石委員へ段取り等をお願いする。

- ・技術紹介に呼んだ業者の一覧を作成し、ホームページへ掲載しては？

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会公益目的支出計画実施事業（案）等について

→ 玉田委員長より説明された。
 次年度の予算組みを行うので、１０～１１月で行うので、実施したい内容等があれば次回に提案するようにお願いした。

「家が人を育てる」

- ・現在の世相を反映

- ・今後の住宅のあり方
 子供たちの勉強部屋（個室）のあり方
 勉強部屋（個室）で勉強するよりもＬＤで勉強した方が身が入る。（ながら寝）
 ひきこもり（就職難民）が増えている。
 少子高齢化社会、バリアフリー

- ・被災地の避難所生活

次回 平成 23 年 10 月 20 日（木） 14:30～17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 5 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 23 年 10 月 20 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・×永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・○諸井 ・○有泉 ・○渡部		
<セルローズファイバー断熱材等の説明 (株)マツナガ>			
<会 議>			
1 . あいさつ 小林副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 「既存住宅の省エネルギー改修講習会」の運営等の確認 申込が少ないので、周知協力依頼をした。 その他 各種講習会等の案内を配布			
3 . 議 題			
(1) 次年度事業計画等について			
・今さら聞けないシリーズ 所員向けの初期セミナーの実施 何回シリーズ (1 回/月程度) でも良いが、全てを受講する申込方法とする。5 回シリーズ程度か？ 内容は、住宅規模を対象とする。			
<事業計画>			
JW-CAD 研修会 今さら聞けないシリーズ (設計から工事監理まで 住宅編) 6 回シリーズ × 2 回 建築における環境についての研修会 1 回 建築における環境についての見学会 1 回 エコハウスについてのワークショップ 3 回シリーズ × 1 回 設計・監理チェックシート等の見直し (横浜支部で途中まで見直した) 施工者側からの提案等も入れたい。			
上記計画をもとに予算案を作成し、次回提出する。			
(2) 見学会の企画提案について (3 月初旬に実施予定)			
「千葉県内 (浦安市、千葉市、野田市) 液状化の現状」見学会企画について			
・千葉会副会長 泉川氏が担当。説明も出来る。また、市へも協力依頼が出来る。 → 賛助会の(株)都市計画地盤研究会より情報を聞く。復旧の仕方や改修方法の説明が出来るか？			
環境省エコハウスモデル (浜松市) と O M ソーラー 地球のたまご (浜松市) の見学会企画について			
・時間等を調べる。			
提案募集について			
・10/28 までにバス日帰りの見学会コースの提案を各委員より提出頂くこととした。			
(3) 建築における環境問題について (テーマの提案)			
・白石委員より資料提供あり。 モダンリビング 11 月号に宿谷邸のエコ紹介記事があるので、読んでみてください。			
(4) 今後の活動内容の提案			
・室温 20 を 1 年保つための条件の研究を行ってはどうか？			

(5) その他

戸建住宅を活用する（グループホーム等）。ストック住宅の活用。

10/28 長谷川 洋氏（国土技術政策総合研究所）がある。

家の燃費を集める。（第 2 弾）

- ・震災後のものとの比較。
- ・家の燃費の結果をホームページへ掲載する。（みらいふれあいフェスティバル 2011 で使用したもの）

次回 平成 2 3 年 1 1 月 1 0 日（木） 15:00～ 神事協会議室

23～24年度 第6回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成23年11月10日(木)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永・×白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・×樋口(雅) ・×諸井・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 小林副会長より 2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・県主催 木造耐震講習会の案内を配布。 ・住宅省エネルギー支援施策一覧表の配布。 ・EPS 断熱建材ガイドブック(発泡スチロール協会作成)の配布。 3. 議題 (1) 次年度事業計画等について(確認及び修正) ・以下を修正する。 <収入> 今さら聞けないシリーズ(設計から工事監理まで 住宅編) 12,000円×30名×2回=720,000円 エコハウスについてのワークショップ 2,500円×30名×3回=225,000円 (2) 見学会の企画提案について 「千葉県内(浦安市、千葉市、野田市)液状化の現状」見学会 ・千葉会副会長 泉川氏が担当。説明も出来る。また、市へも協力依頼が出来るとの回答あり。 ・賛助会の㈱都市計画地盤研究会の安藤氏へ話をしたところ、千葉はやっていない。また、事後対策は行っていない。現在、横浜で液状化の事前対策は行っている、その現場であれば見学ができる。との回答があった。 エコ住宅等の見学会 ・1案 長野県飯田市(エコハウス)と長野県松本市(長野県林業センター) ・2案 群馬県太田市(エコハウス)と長野県松本市(長野県林業センター) ・3案 静岡県浜松市(エコハウス)と静岡県浜松市(OMソーラー地球のたまご) 上記を検討したところ、3案にて内容をつめる。造り酒屋等が近くにあれば、盛込んでも良いのでは? また前回同様、旅行会社へ依頼する。 ・候補日: 1案 3/9、2案 3/6 (3) 建築における環境問題について(テーマの提案) ・南雄三氏の2011.8「住まいと電化」の資料配布(白石委員より提供) (4) 今後の活動内容の提案 ・長期優良住宅の問題点(80㎡以下の小さな物を残してよいのか? 疑問) → 全国一律の基準ではなく、地域にあった等級等を示す方が良い。(神奈川独自の基準を作る等) 神奈川独自の企画。			

- ・首都圏の再生 小さなものの集合帯であるので、街づくり等
- ・エコポイントは、ハウスメーカーばかりが申請しているので、地域の工務店が利用（申請）できるようにする仕様書の作成。
 - 特記仕様書（断熱版）住宅性能表示制度の等級 4 程度。
 - 工事監理技術について
 - 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成
- ・住宅性能表示制度（ 9 項目）の等級と同等となるような性能を満たすには。
- ・次年度事業の今さら聞けないシリーズの資料作成。

（ 5 ）その他

- ・設計チェックシートを次回の委員会へ提出する。
- ・工事監理のチェックリストについては、神永委員より提供頂く。
- ・大和田委員より住宅性能表示制度の温熱環境等級 4 を満たすための資料を提供頂く。
- ・ストック住宅の活用「高齢者住宅の整備に係る現状と制度・計画面での課題」について
玉田委員長より資料提供があり、説明された。

次回 平成 2 3 年 1 2 月 1 5 日（木） 15:00～17:00 神事協会議室にて 会議終了後、忘年会を開催。

23～24 年度 第 7 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 3 年 1 2 月 1 5 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・×永田副委員長 (委員) ○神永・○白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・×諸井 ・×有泉 ・○渡部		
1 . あいさつ 小林副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・各種講習会案内等を配布			
3 . 議 題			
(1) 見学会の企画提案について			
エコ住宅等の見学会 (3 / 9 開催)			
・中川屋 (予約 30 ～ 40 名) バス O K → キャンセルし、昼食は弁当にて対応する。 ・ O M ソーラー(株)地球のたまご 開館時間 10:00 ～ 16:00 TEL 053-488-1700 → 80 分 ・浜松市エコハウスモデル 9:00 ～ 17:00 (火、水休み) 事前に人数を知らせる → 40 分 TEL 053-439-0909 ・天神蔵 浜松酒造(株) 16:00 ～ 一応予約 バス O K → 30 分 ・ O M ソーラーの仕組み、エコロジーへの取り組み等を説明頂く。 ・日時：3 月 9 日 (金) 集合 8 ： 1 0、出発を 8 ： 2 0 とした。 ・参加費は、4 , 5 0 0 円 (昼食代込み) とした。 ・写真等を多く掲載し、案内を A 4 2 枚で作成する。			
(2) 建築における環境問題について (テーマの提案)			
・身に着くことをテーマにしたい。 ・高断熱、高気密の問題 ・CASBEE 戸建 ・防蟻剤の話 ・南雄三氏とのワークショップ (具体的な物件等を使用し、突っ込んだ話が出来れば・・・) 以上のような意見があった。 ・白石委員より「建物燃費ナビ」ソフトに関する資料提供があった。			
(3) 次年度事業の今さら聞けないシリーズの資料作成			
工事監理チェックシート 設計図書チェックシート ・担当者：神永、樋口(和)、諸井、渡部委員とした。			
(4) 地域の工務店が利用 (申請) できるようにする仕様書の作成			
・住宅性能表示制度の等級 4 をクリアする。 ・大和田委員よりエクセルにて作成した住宅性能表示制度の温熱環境に関する検討ソフトの紹介並びに資料提供があった。 このソフトを委員全員へ配布することとした。 ・住宅の省エネルギー基準の解説 ((財)建築環境・省エネルギー機構発行) の書籍紹介があった。			

(5) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成

- ・上記 (2) (4) (5) の担当者：白石、大和田、樋口(雅)、有泉委員とした。

(6) その他

大和田委員よりエクセルにて作成した S S による地耐力設定に関するソフトの紹介並びに資料提供があった。

このソフトを委員全員へ配布することとした。

神奈川県委託事業への協力について

- ・「平成 2 3 年度 新たな応急仮設住宅調査検討委託」を受けたので、協力をお願いした。
参考に関東圏の応急仮設住宅の業務マニュアル及び東日本大震災の概況（国交省作成）資料を配布したので、目を通して欲しい旨をお願いした。

来年の開催日（年度末まで）について

- ・ 1/20（金） 13:00～14:30 県民サポートセンター（予定）
- ・ 2/16（木） 15:00～17:00 神事協会議室
- ・ 3/15（木） 15:00～17:00 神事協会議室

次回 平成 2 4 年 1 月 2 0 日（金） 13:00～ 予定。

23～24 年度 第 8 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 1 月 2 0 日 (金)	会 場	神奈川県民活動サポートセンター 4 0 4 会議室
出席者 (○)	担当副会長 小林忠志 ・ 玉田委員長 ・ 永田副委員長 (委員) 神永 ・ 白石 ・ 樋口(和) ・ 大和田 ・ 樋口(雅) ・ 諸井 ・ 有泉 ・ 渡部		
1 . あいさつ 小林副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 委員長会報告 ・ 玉田委員長よりより報告され、本日の議題にもなっているので宜しくお願いしたい。 その他 各種講習会案内を配布し、参加をお願いした。			
3 . 議 題			
(1) 次年度事業計画及び予算案の修正について			
・ 現在提出している事業計画案及び総財務委員会が作成した修正案を配布。			
< 修正点 > 下段のように修正した。			
(収入)			
2.今さら聞けないシリーズ (6 回×2 セット) を (3 回×2 セット) とした。 受講料 12,000 円×30 名×2 回 = 720,000 円 を 10,000 円×25 名×2 回 = 500,000 円 とした。 いずれもテキスト代込みとした。			
3.建築における環境についての研修会 (合計 390,000 円) 受講料 会員 3,000 円×30 名 = 90,000 円 を 3,000 円×40 名 = 120,000 円 とした。 一般 6,000 円×20 名 = 120,000 円 を 6,000 円×25 名 = 270,000 円 とした。			
4. 建築における環境についての見学会 受講料 4,500 円×40 名 = 180,000 円 を 6,000 円×40 名 = 240,000 円 とした。			
5.エコハウスについてのワークショップ (3 回) を (2 回) とした。 受講料 2,500 円×30 名×3 回 = 255,000 円 を 2,500 円×30 名×2 回 = 150,000 円 とした。			
(支出)			
2.今さら聞けないシリーズ (合計 282,000 円) 講師料 60,000 円×2 回 = 120,000 円 を 30,000 円×2 回 = 60,000 円 とした。 人件費 1,000 円×144 人 = 144,000 円 を 1,000 円×72 人 = 72,000 円 とした。 諸雑費 30,000 円×2 回 = 60,000 円 を 15,000 円×2 回 = 30,000 円 とした。 印刷費 120,000 円×2 回 = 240,000 円 を 60,000 円×2 回 = 120,000 円 とした。			
3.建築における環境についての研修会 (合計 62,000 円) 会場費 40,000 円 を 20,000 円 とした。			
4. 建築における環境についての見学会 (合計 140,000 円) バス代 90,000 円 を 100,000 円 とした。 人件費 1,000 円×8 名 = 8,000 円 を削除した。			
5.エコハウスについてのワークショップ (2 回) (合計 144,000 円) 講師料 10,000 円×3 回 = 30,000 円 を 10,000 円×2 回 = 20,000 円 とした。 人件費 1,000 円×36 人 = 36,000 円 を 1,000 円×24 人 = 24,000 円 とした。 印刷費 20,000 円×3 回 = 60,000 円 を 20,000 円×2 回 = 40,000 円 とした。			
・ 今さら聞けないシリーズ等の研修を支部やブロックで行いたい場合は、資料提供と講師派遣を行う。			
(2) 見学会の案内及び見積り等について (3/9 浜松市エコ住宅等の見学会)			
・ 案内表記中の「また、昼食は「うなぎ」を食します。」を削除する。 ・ 会費を 5,000 円とした。 ・ 見積りのうなぎ (1,680 円) をうなぎ弁当 (1,180 円) へ変更する。 ・ O M ソーラーの話を知りたいと要望する。			

(4) 今さら聞けないシリーズの資料作成 (担当 : 神永、樋口(和)、諸井、渡部) → 次回検討

工事監理チェックシート

設計図書チェックシート

- ・正しい情報を提供するのが原則。
- ・リフォーム、耐震改修などの情報を入れても良い。

(3) 建築における環境問題について (担当 : 白石、大和田、樋口(雅)、有泉) → 次回検討

(5) 地域の工務店が利用(申請)できる仕様書作成 (担当 : 白石、大和田、樋口(雅)、有泉) → 次回検討

(6) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成 (担当 : 白石、大和田、樋口(雅)、有泉) → 次回検討

(7) その他

次年度の活動スケジュールについて (提出期限 : 2 月末)

- ・次回までにスケジュール案 (タタキ台) を作成する。(担当 : 磯部)

会員増強活動案の提出 (提出期限 : 2 月末)

次回 平成 2 4 年 2 月 1 6 日 (木) 15:00 ~ 17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 9 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 2 月 1 6 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 × 小林忠志 ・ ○ 玉田委員長 ・ × 永田副委員長 (委員) ○ 神永 ・ × 白石 ・ ○ 樋口(和) ・ ○ 大和田 ・ × 樋口(雅) ・ × 諸井 ・ × 有泉 ・ ○ 渡部		
1 . あいさつ 玉田委員長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認			
その他 各種講習会案内を配布し、参加をお願いした。			
3 . 議 題			
(1) 見学会の案内及び見積り等について (3/9 浜松市エコ住宅等の見学会)			
・ 見積り金額を確認した。			
バス：99,750 円 交通費：31,500 円 (概算) 乗務員経費：1,050 円 保険料：4,000 円 (100 円 × 40 名) 昼食費：48,000 円 (弁当+お茶 1,200 円 × 40 名) 手数料：8,000 円 (200 円 × 40 名)			
			合計 192,300 円
・ 現在の申込者は 7 名であり、40 名を集めないと赤字となるので、支部等での声かけ及び参加協力をお願いした。			
(2) 今さら聞けないシリーズの資料作成 (担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部)			
工事監理チェックシート 設計図書チェックシート			
・ 神永委員をチーフとし、資料の作成をお願いした。 また、作成した資料については予算が厳しいため、ホームページへ掲載することとした。			
(3) 建築における環境問題について (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
・ 白石委員をチーフとし、検討等をお願いした。			
・ 白石委員より資料の提供があった。(エコハウスのウソ第 1 回～最終回)			
・ CASBEE 届け出の人工について、フォーマットがあれば 1 人工程度では。との話があった。			
(4) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
・ 住宅性能表示制度の等級 4 を満足するための最低基準の特記仕様書資料を作成する。			
・ 大和田委員をチーフとし、資料の作成をお願いした。			
(5) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
・ 大和田委員をチーフとし、資料の作成をお願いした。			
(6) その他			
次年度の活動スケジュールについて (提出期限：2 月末)			

- ・委員会開催については、原則第3木曜日とした。
4/19、5/17、6/21、7/19、8/16、9/20、10/18、11/15、12/20、1/17、2/21、3/21
- ・JW-CAD 研修については、学校側と調整を行い決定する。
予定としては、5月、6月、7月、9月、11月、1月、2月とした。

会員増強活動案の提出（提出期限：2月末）

- ・他会で活動している人に積極的に声をかける。
- ・事務所のためになる講習会の充実。
- ・実務以外のサービス（税金等経営全般に関わるもの）
 - ・建設業国保
 - ・賠償責任保険
 - ・定期講習の時期を個別に知らせる等

次回 平成24年 3月15日（木） 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第10回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成24年 3月15日(木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×小林忠志 ・○玉田委員長 ・×永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・×樋口(雅) ・×諸井 ・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 玉田委員長より ・24年度の事業計画を元の通り行うこととなった旨の報告があった。			
2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・3/26 予算総会実施。委任状等の提出をお願いした。 ・4/7「住・緑・家」物件「三井杉田台自治会館」見学会について、参加協力をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 今さら聞けないシリーズの資料作成(担当:神永、樋口(和)、諸井、渡部)			
工事監理チェックシート 設計図書チェックシート			
・作成した資料については、ホームページへのアップのみとし、研修会は実施しないこととした。			
(2) 建築における環境問題について(担当:白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
・白石委員より資料提供あり。(建築用語スクール省エネ住宅編 第1～4回 宿谷昌則教授)			
(3) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成(担当:白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
・大和田委員より資料「省エネ基準に挑戦～次世代省エネルギー基準をクリアする～」の提出があり、内容を説明頂いた。			
→ この資料を用いた研修会を実施することとした。			
(4) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成(担当:白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
(5) その他			
5/17、8/16、1/17 委員会開催日変更について			
・5/17を5/10とし、移動委員会とした。 ・8/16を8/23とした。 ・1/17を1/18 AMからとした。			
今後のスケジュールについて			
・10月下旬 見学会実施 ・11月下旬 省エネ基準の研修会 ・ピュアウッドハウスの見学については、6月を予定する。			
その他			
・JBNで省令準耐火(在来木造)の仕様書がある。省令準耐火とした場合、火災保険料が半額となる。			
次回 平成24年4月19日(木) 15:00～ 神事協会議室にて			

23～24 年度 第 11 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 4 月 1 9 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・×樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・○諸井 ・○有泉 ・○渡部		
1 . あいさつ 小林副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 ・ JBN で省令準耐火 (在来木造) の仕様書については、講習を受講すれば利用出来る。 省令準耐火の資料を収集する。(玉田委員長) その他 ・ 日事連建築賞の案内、講習会案内、地引網大会の案内を配布し、参加協力等を依頼した。 今年度事業及び予算の確認等 ・ JW-CAD 研修会 (7 回) ・ 今さら聞けないシリーズ (設計～工事監理 住宅編)(2 回) ・ 建築における環境についての研修会 → 大和田委員の資料「省エネ基準に挑戦～次世代省エネルギー基準をクリアする～」 を使用して実施。 ・ 建築における環境についての見学会 ・ エコハウスについてのワークショップ (2 回) 以上が事業計画となっているので、実施に向けて検討及び協力をお願いした。			
3 . 議 題			
(1) 今さら聞けないシリーズの資料作成 (担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部) 工事監理チェックシート ・ 完成目標を 8 月とした。 ・ 担当分けをした。 NO.0～2：樋口(和)委員、NO.3 第 1 章～4 章：神永委員、第 5 章～8 章：諸井委員 NO.4：渡部委員、NO.5：永田委員 設計図書チェックシート ・ 完成目標を 9 月とした。 ・ 担当：玉田委員長 ・ 各担当委員へデータを送付することとした。 ・ 研修実施については、再検討を行う。(例えば、2 回を 1 回開催に変更する等を考える。) ・ 次回は、14:00 より部会を行う。			
(2) 建築における環境問題について (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
(3) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
(4) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉) ・(2) ～ (3) について検討を行った。 ・ 講習会が不調であるとのことから、過去を振り返ってみた。 ・ 実務的であり、興味のあることを目指していたが・・・ ・ 2 年前に実施した南雄三氏の講習会ではニーズがあった。 ・ 企画をしっかりしたい。興味を示すものは何か？ → 実務にすぐ活かせる内容。			

- ・大和田委員の資料をもとにした事例が必要。
- ・断熱は奥が深い。性能が担保できない難しさがある。
- ・ピュアウッドハウスの見学会を6月の委員会で実施したい。
- ・ワークショップについては、入門編と実践編の2回に分けて行いたい。(企画はこれから)
- ・周知が重要。興味を持たせるタイトルや危機意識を持たせることも必要では？
- ・会員へのアンケートをホームページ上で行い、潜在的なニーズを知る必要がある。
- ・机上 - 実践 - 検証が必要。
- ・工事監理チェックシートには、断熱を入れて欲しい。資料は用意したい。

(5) その他

意見交換

- ・色々なアイデア、新しい情報の提供も必要。
- ・最先端CAD: BIM - CAD (ビルディング・インフォメーション・モデリング) 価格70万円
- ・ピュアウッドハウスの図面のチェックにグーグルスケッチアップを利用している。
JW-CAD 研修でもスケッチアップについての内容が実施出来るので、盛り込んだ企画をする。

移動委員会について

5月10日に小田原(予定)で開催する。時間は、15:30～、場所未定。

23～24 年度 第 12 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 5 月 2 2 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・×樋口(雅) ・× 諸井 ・○有泉 ・○渡部		
1 . あいさつ 小林副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 5/11 委員長会議の報告 (玉田委員長より) その他 ・各種資料等を配布。			
3 . 議 題			
(1) 今さら聞けないシリーズの資料作成 (担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部)			
工事監理チェックシート 設計図書チェックシート			
・神永委員及び渡部委員より案の提出があったが、時間なかったため部会の開催は無かった。			
(2) 建築における環境問題について (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
・大和田委員より資料提供があった。 次世代省エネ基準見直しへ、創エネ性能も評価 低炭素社会に向けた住まいと住まい方の推進に関する工程表 (案) (環境省地球環境局地球温暖化対策課、国土交通省)			
・ドイツ公共 TV、ZDF の報道 (福島原発から 8 0 Km も離れたところの放射能汚染について)			
(3) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成 → 次回へ (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
(4) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉) → 次回へ			
(5) ピュアウッドハウス見学について (次回委員会時に実施)			
日時：平成 2 4 年 6 月 2 1 日 (木) 集合 13:00 会場：井の頭線 浜田山駅改札			
(6) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて			
開催：平成 2 4 年 1 0 月 2 0 日 (土) ～ 2 1 日 (日) 横浜産貿ホール 担当：イベント部会 (「住・緑・家」運営特別委員会と共に)			
・5/31 に合同委員会が開催されるので、内容については委員長一任とした。			
(7) その他			
平成 24 年度 住宅市場技術基盤強化推進事業 木造住宅・木造建築物の性能及び生産性向上等のための調査検討・普及事業のうち 住宅省エネ化推進体制強化事業者の募集について			
・事業の内容について資料をもとに確認を行い、応募を行うこととした。(上原会長も電話にて了承) ・応募をするにあたり、申請書の作成を行うが、多岐にわたり、書類提出締切が 6/1 であるため、タ タキ台作成の担当者を下記とした。			
別紙様式 B (1)～(4)：小林副会長、(4)～(6)：磯部 (実績：省エネ住宅見学会 2 回、改正省エネ法講習、エコハウス研修会等)			

別紙様式 C 1～2：大和田委員、3：磯部、4～8：玉田委員長
会費内訳書：磯部

- ・ 6/1 に申請書の必着なので、5/29 の午後に最終確認を行う予定。

地域型住宅ブランド化事業の応募について

- ・ 事業内容の資料を配布。（長期優良住宅への補助＋地域材利用への補助をグループに行う。）
- ・ 9月～10月に第2回のグループ募集を行う予定なので、応募を行う。
- ・ グループ化（システム作り）を8月中にまとめるため、最優先事項と位置付ける。

次回、平成24年 6月21日（木） 浜田山駅改札集合 13:00
会議は、神事協会議室に戻り次第行う。

23～24 年度 第 13 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 6 月 2 1 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・×樋口(雅) ・○諸井 ・○有泉 ・○渡部		
<見学会> ピュアウッドハウス現場見学 (浜田山にて) <会 議> 1 . あいさつ 小林副会長より 2 . 各種報告 前回議事録の確認 住宅省エネ化推進体制強化事業者の募集についての報告 (参考にまち協申請書類配布) ・ 前回の委員会で申請を行うとしたが、(社)かながわ住まい・まちづくり協会が申請するため、辞退いた旨を報告した。協力体制等については、今後の動きをみて決定する。 神奈川県東部総合職業技術校の CAD 研修について ・ 技術校より 2,000 円の受講料のみ記載して欲しいとの要望あり。 但し、資料代、郵送費等の必要経費については、記載可。 その他 ・各種講習会案内等を配布し、参加をお願いした。 3 . 議 題 (1) 今さら聞けないシリーズの資料作成 (担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部) → 次回検討 工事監理チェックシート 設計図書チェックシート (2) 建築における環境問題について (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉) → 次回検討 (3) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉) → 次回検討 (4) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉) → 次回検討 (5) 地域型住宅ブランド化事業への申請について (内容等の検討) ・ 申請書作成を最優先事項とした。(9 ～ 10 月申請予定) また、申請するにあたり、神事協 (団体) での申請ができない為、上原会長の事務所を代表所属先として申請することとした。 ・ 各団体に依頼文書の作成が必要であるが、それには先ずコンセプト等が必要になる。 ・ 委員全員への宿題として、標記事業についての募集要領等、本日配布した資料をよくお読みになり、グループのコンセプト等の提案を提出頂くこととした。 申請様式 2-2 ～ 4-2 は必須項目なので、その内容について提案を頂きたい。 例 . 設計事務所が関与することのメリット ローコスト 安全性の確保 (許容応力度計算で担保している等) 環境関係 (性能評価、次世代省エネ、自然素材等) 無印良品型の住宅 (難しいが・・・) ・ 申請書類については、現在発表しているものを利用し、変更になった場合は、修正等を行い対応する。 ・ 当会で工務店等をおこなっている兼業事務所を調べる。 ・ 大和田さんより、参考資料の配布あり。			

(6) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて (10/20 ~ 10/21 横浜産貿ホール)

担当 : イベント部会 (「住・緑・家」運営特別委員会と共に)

- ・フェスティバルの内容について説明。イベント部会の役割及び予算 (10 万円) について確認した。
- ・予算がないためと室内なので音響設備のいない内容とした。また、限られた予算のため、イベントの候補としては、下段が上がった。共同担当の「住・緑・家」運営特別委員会へも報告する。
昨年度依頼したピエロ (3 万円) 担当 : 玉田委員長
マジックショー (相模原支部で出演実績あり、2 ステージ 3 万円) 担当 : 有泉委員
フラダンス (昨年 1 万円) → 要検討
落語 → 要検討
なお、良い提案があれば、その都度連絡を頂くこととした。
- ・開会式及び閉会式については、今後検討していく。
- ・各種体験コーナー企画、スタンプラリーの実施については、「住・緑・家」運営特別委員会へ依頼する。
- ・司会者については、坂本職員に依頼することとした。
- ・7 月 2 日に実行委員会があるので、提案等を報告することとした。

(7) その他

- ・なし

次回 平成 2 4 年 7 月 1 9 日 (木) 15:00 ~ 神事協会議室にて

23～24 年度 第 14 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 7 月 1 9 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・×白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・×諸井 ・×有泉 ・○渡部		
1 . あいさつ 小林副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認			
その他 ・住宅省エネ化推進体制化事業者（まち協）の会議が 8/2 に開催されるので、玉田委員長が出席することを報告した。 ・各種講習会案内等を配布した。			
3 . 議 題			
(1) 今さら聞けないシリーズの資料作成（担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部）			
工事監理チェックシート 設計図書チェックシート			
データをまとめる。			
(2) 建築における環境問題について（担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉）			
(3) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
(4) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成（担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉）			
上記（ 1 ）～（ 4 ）の内容については、次回までにまとめることとした。			
(5) 地域型住宅ブランド化事業への申請について（内容等の検討）			
地域型住宅の名称：(仮称) 設計事務所と工務店のコラボで創る「新しいカタチの家」 対象地域：神奈川県全域 グループの名称：「新しいいえづくりの会」 グループ代表者：上原 伸一 グループ事務局：(有)上原建築設計事務所 グループ後援団体：神奈川県木材業協同組合連合会 神奈川県森林組合連合会 かながわ森林林材業活性化協議会 製材工場：愛川森林組合、吉岡木材(株)、(株)市川屋、石田木材(株)、(株)太田材木店 プレカット工場：(株)市川屋、 原木供給：神奈川県森林組合連合会、静岡県（玉田委員長が打診する）			
・永田副委員長、大和田委員よりイメージ図等の提出があり、説明した。 消費者の目線に立つ。性能が実感できる。 ・工務店については、神事協会員の兼業事務所とする。（案内をする。） ・プレカット業者、材木店については、実際使っている業者を教えて頂く。（神永委員、大和田委員） ・サポートセンターの設置が必要（長期優良住宅の申請が出来ない等が無いように） ・依頼先への依頼文を早急に作成する。 ・8/2 以降に集まってタタキ台を作成することとした。日程については、後日送付するので、出来る限り出席をお願いした。 ・内容がまとまった時点で説明会を実施することとした。			

(6) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて (10/20 ~ 10/21 横浜産貿ホール)

担当 : イベント部会 (「住・緑・家」運営特別委員会と共に)

- ・フェスタのマジックは、依頼しOKを頂いています。日曜日、午前午後 2 回程度で、3 万円です。
との報告が有泉委員より連絡があった。
- ・イベントとしては、フラダンス、ピエロ、マジックと「住・緑・家」が準備しているスタンプラリーとした。

(7) その他

次回新技術の紹介について

- ・富士ゼロックスからの提案について
8/23 14:30 ~ 15:00 で行って頂くように打診する。

次回 平成 2 4 年 8 月 2 3 日 (木) 新技術紹介 4:30 ~ 15:00 会議 15:00 ~ 17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 15 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 8 月 2 3 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 × 小林忠志 ・ ○ 玉田委員長 ・ ○ 永田副委員長 (委員) ○ 神永 ・ × 白石 ・ × 樋口(和) ・ × 大和田 ・ × 樋口(雅) ・ ○ 諸井 ・ × 有泉 ・ ○ 渡部		
<新技術の紹介> (株)カイショー(富士ゼロックスからの提案) ・クライアントとの信頼関係と設計業務の効率化 (スマートタブレットで創る新しいビジネススタイル) <会 議> 1. あいさつ 2. 各種報告 前回議事録の確認 平成 24 年度住宅市場整備推進等事業(省エネ)への協力について 講師講習会へ渡部委員及び企画業務委員長の折笠氏を推薦した。 その他 ・各種講習会案内を配布。 3. 議 題 (1) 今さら聞けないシリーズの資料作成(担当: 神永、樋口(和)、諸井、渡部) 工事監理チェックシート ・神永委員が 2 案作成し、担当委員へ送付済みである。どちらでまとめるかを検討する。 設計図書チェックシート ・玉田委員へデータファイルを送付する。 次回まとめることとした。 (2) 建築における環境問題について(担当: 白石、大和田、樋口(雅)、有泉) (3) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成(担当: 白石、大和田、樋口(雅)、有泉) (4) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成(担当: 白石、大和田、樋口(雅)、有泉) ・(2) ～ (3) 担当委員が欠席のため、次回検討。 (5) 地域型住宅ブランド化事業への申請について 報告 ・8/6「地域型住宅ブランド化事業」の採択発表 全国で 592 グループ中、363 グループを採択。神奈川県については、11 グループが採択された。 ・予算が 9 0 億から 6 0 億に減額された。 申請書の内容について(玉田委員長及び永田副委員長より説明) ・8/10(小林副会長、玉田委員長、永田副委員長、大和田委員)に案を作成した。 <申請書の内容> 地域型住宅の名称: かながわ e 家(かながわいーいえ) グループ名称: 設計事務所と工務店のコラボで創る「新しいいえづくり応援団」 体表者: 上原会長 事務局: (社)神奈川県建築士事務所協会 対象地域: 神奈川県 結成年月日: 平成 2 4 年 5 月 地域材の名称: かながわブランド県産木材(産地認証・品質認証)他 地域材の産地: 神奈川県(隣接地域材) 認証制度等: 産地認証・品質認証制度・合法木材			

- ・様式 2-2 の 4 (図は省略)
 - 設計事務所・工務店という従来の硬直した関係を打破し、積極的な関係 (足りない部分を補う関係) を構築する。
 - (社) 神奈川県建築士事務所協会が主導する (仮称) サポートセンターを設置し、各委員会との連携のもと、構成員の継続的スキルアップが可能な研鑽システムを構築する。
- ・様式 2-3 の 4
 - 神奈川県産木材は、平成 24 年 2 月 17 日「西湘・足柄地域の森林・林業の再生に向けて」報告書に記述があるように新築に耐える柱材等構造材が材質・コスト等を勘案すれば量的に確保されているとはいい難いが、神奈川県の林業の活性化、環境保全、森林循環を鑑みると第一にかながわブランド品質認証材を使用することが望ましいと考える。ただし、資材が不足した場合は、ウッドマイレージ等を考慮し、他県 (隣接県の静岡等) 認証地域材を使用する。
また、消費者への PR 活動として設計時における提案 (県産材使用によるメリット・コスト等の情報提供を含む) は必須とする。
- ・様式 2-3 の 5 → なし
- ・様式 3-1-4(1)
 - 県北西部の一部地域を除き、本県は「 b 地域」に区分される比較的穏やかな気候帯にある。
 - 本県は、近代都市・新興都市としての東部地域と農村地帯・山林地域が残る西部地域に分類できる。更に横浜・川崎・湘南・三浦半島・県央・県西など特性の異なる地域が多数存在し、独自の町並み景観がある。
 - 本県は流入人口も多く、国立社会保障人口問題研究所の推計によると、世帯数は 2025 年のピークまで増加する見込みと言われている。首都圏に位置し、多様な地域があり選択性が高いことが一因であると容易に想像できる。その反面、いわゆる県民性については県民のルーツが多岐にわたるため、一定の特性を見極めることは困難である。
- ・様式 3-1-4(2)
 - かながわ県産木材は、ヒノキ、スギが中心である。
 - 平成 23 年度より「JAS 製品相当材である「かながわブランド県産木材」は、ヒノキ土台、ヒノキ柱、ヒノキ梁桁、スギ梁桁が中心である。強度については、全国平均並みである。
 - 生産量、需要とも現在は少なく、需要増に伴う生産増を図っていく。
- ・様式 3-1-4(3)
 - (社) 神奈川県建築士事務所協会は、全県を網羅した組織であり、8 ブロック (横浜・川崎・横須賀・湘南・中・県央・相模原・県西) にそれぞれ地域特性を理解した設計事務所があるため、多様な地域性や消費者ニーズにも対応した住まいづくりが可能。
 - 部材や仕様の限定は最小限に留め、技術的根拠を明確にした自由度の高い住まいづくり。
 - 消費者サイドに立った費用対効果を「見える化」した住まいづくり。
- ・様式 3-1-5(1)
 - 「長期優良住宅仕様」及び「性能評価仕様」とし、耐震は等級 2 以上とし、等級 3 を推奨する。耐風については、等級 2 とする。
 - 性能評価の省エネ対策等級 4 をベースとして、断熱・気密・空調・換気を関連付けた仕様とする。良質な住生活を送るための室内環境等を配慮した仕様とする。
 (確認手段等)
 - 申請資料準備段階で図面及び計算書等をサポートセンターにて仕様のチェック及び評価。
- ・様式 3-1-5(2)
 - 原則として、地域認証材を 50% 以上使用し、プレカットは、県内業者が責任を持って加工、出荷し納入する。
 - 原則として、土台は県産ヒノキとし、その他は静岡県等の認証材を 50% 以上使用する。
 - 羽柄材等は、地域認証材を推奨する。
 (確認手段等)
 - 木拾い表、納入伝票 (出荷証明)、木材認証材証明書または合法性能証明書等

- ・様式 3-1-5(3)
 - 内訳書は、共通書式とし、標準化を図る。
 (確認手段等)
 - 仕様書、内訳書の確認
- ・様式 3-1-5(4) → なし
- ・様式 3-1-5(5)
 - 原則として、施工マニュアルによる施工確認を行う。
 (確認手段等)
 - マニュアル確認
- ・様式 3-1-5(6)
 - 住宅履歴は推進協議会会員の情報サービスを利用
 - 部材の耐用年数に基づく長期修繕計画の作成
 - 設計事務所と工務店チームによる定期点検
 (確認手段等)
 - 維持保全計画書の添付
- ・様式 3-1-5(7)
 - (社)神奈川県建築士事務所協会との連携
 (確認手段等)
 - 各種委員会
- ・様式 3-2-4 → 図の修正
 図の左欄 消費者が選択可能な住まいづくりに設計を中心に追記する。
 認証地域材を地域認証材へ修正。
- ・様式 3-3-4
 - 平成18年1月18日 神奈川県木材業協同組合連合会との協働事業である県産材を使用した木造住宅コンベシステム「住・緑・家」の運用開始。
 - 平成18年6月 県産材を使用した木造住宅コンベシステム「住・緑・家」の事例作成コンペを(社)神奈川県建築士事務所協会設立30周年記念事業として実施。
 - 平成18年6月16日 「建築設計におけるコスト戦略」講習会を実施。
 - 平成18年7月11日 「木造住宅の耐震診断と補強方法」講習会を実施。
 - 平成18年8月30日 「震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会を実施。
 - 平成18年10月13日～15日 神奈川県主催「森林循環フェア」に参加し、県産木材の利用促進をPR。
 - 平成18年11月17日 「住まいと健康セミナー」を実施。
 - 平成19年3月16日 「建築士法の改正等」講習会を実施。
 - 平成19年6月8日・15日 「改正建築士法」講習会を実施。
 - 平成19年6月19日 「建築物の安全性確保を図るための建築基準法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政省令の開設」講習会を実施。
 - 平成19年9月14日 「戸建て住宅を巡る建築紛争に関する研修会」を実施。
 - 平成19年9月26日、10月24日、10月31日 ウッドセミナー「木の魅力」講習会を実施。
 - 平成19年11月9日～11日 神奈川県主催「森林循環フェア」に参加し、県産木材の利用促進をPR。
 - 平成19年11月15日 「木造のN値計算と増築時の注意点」研修会を実施。
 - 平成20年3月19日 「建築士法改正説明会(建築士事務所等の責務について)」を実施。
 - 平成19年度 「建築確認申請図書(構造計算書・構造図)の作成に関するサポートセンターに関する業務(木造3階建て・混構造住宅)受託
 - 平成20年5月19日 「建築基準法改正内容と天空率」研修会を実施。
 - 平成20年7月10日 「住宅の瑕疵担保履行法」に関する研修会を実施。
 - 平成20年9月9日・10月8日 ウッドセミナー「木の魅力」講習会を実施。
 - 平成20年11月14日～16日 神奈川県主催「森林循環フェア」に参加し、県産木材の利用促進をPR。
 - 平成20年度 「建築確認申請図書(構造計算書・構造図)の作成に関するサポートセンターに関する業務(木造3階建て・混構造住宅)受託
 - 平成21年7月2日 「東京大学千葉演習林」見学会を実施。
 - 平成21年7月23日 「建築物の現場調査のポイント及び立ち退きに関わる建築物の朽廃について」研修会を実施。
 - 平成21年8月21日、9月4日、9月11日 「瑕疵担保履行法に対応する木構造について」研修会を実施。
 - 平成21年11月6日～8日 神奈川県主催「森林循環フェア」に参加し、県産木材の利用促進をPR。
 - 平成22年2月24日 「神奈川の木を知ろう」見学会を実施。
 - 平成22年3月16日 「改正省エネ法について」講習会を実施。

- 平成22年3月25日 「神奈川県受動喫煙防止条例及び住宅のエコポイント」説明会の実施。
- 平成22年4月21日 「自立循環型住宅設計」講習会を実施。
- 平成22年9月13日 「神奈川県建築基準法取扱基準に関する」講習会を実施。
- 平成22年9月13日 「省エネ法に基づく届け出実務」研修会を実施。
- 平成22年10月22日～24日 神奈川県主催「森林循環フェア」に参加し、県産木材の利用促進をPR。
- 平成22年11月16日 「木材に関する研修（かながわ県産木材の利用）」研修会を実施。
- 平成23年1月26日 「建てて得するエコハウス 注目の法制度を整理整頓」研修会を実施。
- 平成23年1月27日、2月4日 「地盤に関する」勉強会を実施。
- 平成23年2月3日 「基礎・地盤の事例に基づく調査鑑定法について」研修会を実施。
- 平成23年2月14日、2月15日 「基礎・木軸組みに関する」勉強会を実施。
- 平成23年2月17日 「国産木材利用施設等の見学会」を実施。
- 平成23年4月8、15日 「設備設計の基礎（電気設備編）」講習会
- 平成23年4月22、28日 「設備設計の基礎（衛生設備編）」講習会。
- 平成23年5月13日、20日 「設備設計の基礎（空調設備編）」講習会を実施。
- 平成23年4月18日 「かながわみどりの家づくり補助金（県産材活用促進事業）説明会を実施。
- 平成23年4月19日 「建築におけるほんとうの環境問題とは」勉強会を実施。
- 平成23年6月3日 「環境省エコハウスモデル（山梨県）」見学会実施。
- 平成24年3月9日 「環境省エコハウスモデル（静岡県）」見学会実施。
- 平成23年7月4日 「震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会を実施。
- 平成23年9月10日 「ウッドマイルズ」セミナーを実施。
- 平成23年11月2日 「既存住宅の省エネルギー改修」講習会を実施。
- 平成23年12月1日 「木の上手な使い方、適材適所の木材選び」研修会を実施。（東京大学 安藤直人教授）
その他多数。

上記のような各種講習受講者等を中心に(社)神奈川県建築士事務所協会の技術調査委員会にて長期優良住宅の調査・研究を始める。

- 平成24年5月22日 スケジュール、仕様等についての協議（地域型住宅ブランド化事業への取組み開始）
- 平成24年6月21日 グループ協力体制等の協議、仕様の作成
- 平成24年7月19日 グループ構成員募集方法等の協議、説明会等の作成
- 平成24年8月10日 設計事務所、工務店向け説明会の実施について
- 平成24年8月23日 説明会資料等の意見交換 ●平成24年8月29日 説明会の実施
- 平成24年9月10日 申請書作成（書類のチェック等）

・様式 4-1-4(1)

- 各種性能値について、技術的根拠を提示する。（設・工）
- 各種性能値について、費用対効果を提示する。（設・工）
- 定性的要素について、メリット&デメリットを提示する。（設・工）
- (社)神奈川県建築士事務所協会の「家づくりセカンドオピニオン特別委員会」と連携し、第三者的チェック体制を構築。（神事協）

・様式 4-1-4(2)

- 住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会会員の情報システムを利用する。（工）
- 仕様部材の耐用年数に基づく長期修繕計画の作成、計画の活用。（設・工）
- 設計事務所と工務店のチームによる定期点検の実施。（Wチェック）（設・工）
- 定型様式の工事写真（新築時＋改修時）を整備及び第三者的チェックが可能なシステムの構築。（設・工・神事協）

・様式 4-1-4(3)

- 地域圏単位で消費者に向けた勉強会、相談会、見学会等を実施。（設・工・神事協・サポ）
- 県全域単位でITを活用した情報提供システムを構築。（設・工・神事協・サポ）
- (社)神奈川県建築士事務所協会の各種委員会と連携し、広報活動を実施。（神事協・サポ）

・様式 4-1-4(4)

- （仮称）サポートセンターによる各種スキルアップセミナーの企画・運営。（設・工・神事協）
- 会員の研修実績の公開（研鑽意欲の向上を図る。）（神事協・サポ）

・様式 4-1-4(5)

- サポートセンターにおいてデータ（維持管理、技術根拠等）をストックし、検証、更新をし、技術研修会等でスキルアップを図り、新技術の導入に結びつける。（設・工・神事協・サポ）

・様式 4-1-4(6)

- 神奈川森林循環フェアにて消費者に向け、地域材利用の意義を啓発し、継続的に講習会、フェア、

県産材利用の「住・緑・家」コンベシシステム等により地域材の供給、需要を増大させることにより森林の循環を図る。(原木・製材・流通・設・工・神事協)

・様式 4-1-4(7)

- (社)神奈川県建築士事務所協会において、平成 23 年度神奈川県より応急仮設住宅の調査を受託し、被災 3 県の現状把握をすると共に神奈川県における応急仮設住宅の提案をした。この組織と連携を図る。(設・工・神事協)

・様式 4-1-4(8)

- 森林循環を熟知する県産ブランド認証委員による技術講習、現地見学、体験によって人材の育成を図る。(原木・製材・流通・設・工・神事協)

・様式 4-1-5 → 登録者の集計より算出

・様式 4-1-6 → なし

・様式 4-1-7

- あらかじめグループ内で最低 1 棟とし、希望棟数について聞き取りをし、それに基づき補助金枠を分配する。また、枠が決まり次第グループ内で協議をする。

・様式 4-2 → 図省略

・様式 5 → 申込希望者より提出頂く。

- ・ 8/29 15:00～16:30 日本丸訓練センター第 1 教室にて上記内容の説明会を開催する。
- ・登録費(設計、工務店) 5,000 円/年、その他(製材、流通、プレカット) 15,000 円/年を予定する。
- ・グループに入りたい業種(流通、プレカット)については、入りたい方が説明をして了承された場合は、登録をして頂く。

(6) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて (10/20～10/21 横浜産貿ホール)

- ・担当割を次回の委員会にて決定する。

(7) その他 → なし

次回 平成 2 4 年 9 月 2 0 日 (木) 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第17回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成24年10月18日(木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・×白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・○諸井 ・×有泉 ・×渡部		
1. あいさつ 小林副会長より			
2. 各種報告 前回議事録の確認 → 後日玉田副委員長より提出頂くこととした。			
その他 ・省エネ講習会 現在申込 13 名。 30 名定員で神事協が担当なので、是非受けて頂くように周りに声を掛けて頂くこととした。(講師：技術調査委員の渡部さんと企画業務委員長の折笠さん) ・各種講習会等の案内を配布した。			
3. 議 題			
(1) 地域型住宅ブランド化事業への申請について(募集開始 10/16～11/12)			
応募者報告(流通 3、プレカット 5、設計 54、施工 22)			
・様式の変更が有り、確認を行った。			
・様式 5 については、全員再提出の必要があるので、申請者全員にメールにて送付(10/22 までに)し、10/31 までに送付頂くことを依頼する。また、送付の際には、会の規約も送付する。			
会の規約作成について			
下段とした。			
設計事務所と工務店のコラボで創る「新しいいえづくり応援団」規約			
平成24年10月18日制定			
(目 的)			
第1条 設計事務所と工務店のコラボで創る「新しいいえづくり応援団」(以下、「本会」という。)は、地域材(国産、県産材含む)を使用する健康的で質の高い木造戸建住宅を普及するため、神奈川県内の木造住宅取得希望者と交流を行い、消費者のための住まい造りに寄与することを目的とする。			
(地域型住宅の名称)			
第2条 本会が建築する名称は、「かながわe家」という。			
(事 業)			
第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 (1) サポートセンターの設置及び運用。 (2) 長期優良住宅に関連する情報の提供。 (3) 技術力向上のための研修、セミナーの実施。 (4) その他、本会の目的を達成するために必要な事項。			
(組織構成)			
第4条 本会は、次の構成とする。 (1) 社団法人神奈川県建築士事務所協会正会員の内、設計並びに施工登録をしたものを本会正会員とする。 (2) 前項の正会員による推薦登録される製材業者を製材会員、材木店を流通会員、プレカット業者をプレカット会員とする。 (3) 原木供給者は、原木供給会員とする。 (4) 前項(1)(2)以外の加入は、申請書に基づき審査を行い会員となることができる。 (5) 本会の事務局は、横浜市中区不老町 3-12 第3不二ビル2Fの(社)神奈川県建築士事務所協			

会内とする。

(6) 事務局は、構成員の業務の適正な運営及び厳正な活動を管理する。

(役 員)

- 第 5 条 本会は、次の役員を置くものとし、役員は総会において正会員より選任する。
- 2 役員は、委員長 1 名、副委員長 2 名、サポートセンター長 1 名、監事 1 名とする。
 - 3 役員の任期は、2 年とする。但し、再任を妨げない。
 - 4 委員長は、この会を代表して会務を統括する。
 - 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。
 - 6 監事は、財務状況の把握を行い監査する。

(総 会)

- 第 6 条 総会は、年 1 回開催する。
- 2 総会は、委員長が招集し、会員（委任状含む）の 3 分の 1 以上の出席をもって成立する。
 - 3 総会を開催するときは、開催日の 7 日前までに文書をもって通知する。通知の方法については、電磁的方法も可とする。
 - 4 総会の決議事項は、予算、決算、事業計画、事業報告とする。

(会 費)

- 第 7 条 本会の会費は、次のとおりとする。
- (1) 正会員 年額 5,000 円
同一業者が重複して会員となる場合は、年額 7,500 円
 - (2) 製材会員、流通会員、プレカット会員 年額 15,000 円
同一業者が重複して正会員となる場合は、年額 20,000 円

(退 会)

- 第 8 条 会員が本会を退会しようとするときは、その旨を書面にして届け出なければならない。
- 2 会員が次の各号のいずれかに該当するときは、退会したものとみなす。
 - (1) 会費を 6 ヶ月以上滞納したとき
 - (2) 本会の規約に違反したとき
 - (3) 会員が解散したとき

原木供給、製材についての依頼先等について（依頼訪問日程等含む）

- ・ 神奈川県森林組合連合会（原木供給、流通）
 - ・ 静岡県森林組合連合会（原木供給、流通）
 - ・ ㈱市川屋（製材、流通、プレカット）
 - ・ 石田木材㈱（製材、流通）
 - ・ 吉岡木材㈱（製材、流通）
 - ・ 鹿島木材（静岡県）（製材、流通、プレカット）
 - ・ 神奈川県木材業協同組合連合会（その他）
 - ・ (社)神奈川県建築士事務所協会（その他）
- ・ 玉田委員長が電話連絡した所、全て協力して頂けるとの報告があった。
改めて玉田委員委員長が訪問等を実施する。県森連については、11/1 に玉田委員長及び小林副会長が訪問し依頼を行うこととした。
- ・ 依頼文、返信用封筒（切手貼付）登録申請書、規約、様式 5 を 1 セットとする。

サポートセンターについて

- ・ 今後検討する。

(2) 今さら聞けないシリーズの資料作成（担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部）

工事監理チェックシート

- ・神永委員より案の提出があり、案の様式にそろえることとした。
また、完成目標を3月までとした。

設計図書チェックシート

- (3) 建築における環境問題について (担当: 白石、大和田、樋口(雅)、有泉)
- (4) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成
(担当: 白石、大和田、樋口(雅)、有泉)
- (5) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成 (担当: 白石、大和田、樋口(雅)、有泉)
- (3) ~ (5) については、時間が無かったため次回検討する。
住宅・建築物に係る省エネルギー基準の見直しがあるので、様子を見ては?との意見もあった。
- (6) 2012 みらいふれあいフェスティバルについて (10/20 ~ 10/21 横浜産貿ホール)

各日の出欠を確認した。集合時間 9:00 現地へ

イベント内容についての最終確認

< 10/20 >

11:00 ~ 11:20 開会式 (準備 10:00 ~ 10:40、撤去 11:20 ~)
12:00 ~ 12:50 フラダンス

< 10/21 >

11:30 ~ 12:00 フラダンス (準備 10:00 ~)
12:05 ~ 12:35 マジックショー
12:55 ~ 13:20 マジックショー
13:25 ~ 13:55 フラダンス (撤去 13:55 ~ 14:00)

(7) その他

長期優良住宅の講習会開催について

- ・「住・緑・家」運営特別委員会と合同開催とした。

次回 平成24年11月15日(木) 15:00 ~ 17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 18 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 4 年 1 2 月 2 0 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・×諸井 ・○有泉 ・○渡部		
1 . あいさつ 小林副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 委員長会報告 (11/8、12/13) 地域型住宅ブランド化事業への申請報告 (11/9) (原木供給 4、製材 7、流通 7、プレカット 7、設計 55、施工 22) ・会規則の報告 → 一部修正あり。 その他 ・各種講習会等の案内を配布した。 ・日事連政経フォーラムにて実施された勉強会の資料「設計監理契約に当たってのトラブル回避」を参考配布した。			
3 . 議 題			
(1) 次年度事業計画及び予算案の修正等について			
・修正点は下記とした。			
< 収入の部 > J W - C A D 研修会 初級者 2 回 (RC 編 1 回、木造編 1 回) 3,000 円 × 15 名 × 2 回 = 90,000 円 へ修正。 中級編 1 回 2,500 円 × 15 名 = 37,500 円 へ修正。			
< 支出の部 > J W - C A D 研修会 初級者 2 回 (RC 編 1 回、木造編 1 回) 2,000 円 × 15 名 × 2 回 = 60,000 円 へ修正。 中級編 1 回 2,000 円 × 15 名 = 30,000 円 へ修正。			
(2) 一般社団化後の組織案について			
・組織案について、小林副会長より説明された。技術調査委員会は無くなる。			
(3) 地域型住宅ブランド化事業について			
サポートセンターについて			
・案の作成を小林副会長が作成することとした。			
総会等の準備について			
・発起人：上原会長 ・案の作成を小林副会長が作成することとした。 ・年 1 回実施。			
< 総会議案 > ・規約の承認 ・役員選出 (一任されたら案を出すので、案作成) ・事業計画案及び予算案 ・その他 (総財務委員会委員の選任)			
設計事務所と工務店のコラボで創る「新しいいえづくり応援団」規約の修正について			

・(会費)第7条

(3)会費は、事業年度開始から1ヶ月以内に指定口座に納入する。 を追記する。

・付則 1 この規約は、平成24年10月18日から施行する。

2 第4条第1号及び第5号に記載の社団法人神奈川県建築士事務所協会を平成25年4月1日より一般社団法人神奈川県建築士事務所協会に読み替えるものとする。

長期優良住宅の講習会開催について → 実施未定

その他

・銀行口座の開設。

・請求書の送付。

(4)今さら聞けないシリーズの資料作成(担当:神永、樋口(和)、諸井、渡部)

工事監理チェックシート

・12月中に担当箇所についてのデータを神永委員へ送付することとした。
まとめたものを1月の委員会資料とする。

設計図書チェックシート

・12月中にデータを神永委員へ送付することとした。

(5)建築における環境問題について(担当:白石、大和田、樋口(雅)、有泉)

・方向性を出すこととした。

(6)地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成

(担当:白石、大和田、樋口(雅)、有泉)

(7)高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成(担当:白石、大和田、樋口(雅)、有泉)

上記(6)及び(7)については、基準が変わったため、資料のまとめ方を議論する。

(8)その他

大成建設㈱ 創業140周年記念展「未来へのバトン」について

・小林副会長より案内が配布された。希望があれば、参加頂きたい。

次回 平成25年 1月30日(水) 15:00~17:00 神事協会議室

23～24 年度 第 19 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 1 月 3 0 日 (水)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 ○上原会長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・×樋口(雅) ・○諸井 ・○有泉 ・○渡部		
1 . あいさつ 上原会長、小林副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 1/17 委員長会報告 その他			
3 . 議 題			
(1) 次年度事業計画及び予算の最終案 確認			
・ 変更点のみ確認した。(変更点は下段)			
< 支出の部 >			
2.今さら聞けないシリーズ 会場費：5,000 円、講師料：9,000 円、人件費：2,000 円、印刷費：5,000 円 へそれぞれ減額。			
3.建築における省エネ基準の研修会 会場費：5,000 円、講師料：15,000 円、人件費：3,000 円、印刷費：5,000 円 へそれぞれ減額。			
4.最新木造建築物の見学会 (バス見学会) バス代：80,000 円、交通費：10,000 円 へそれぞれ減額。			
(2) 地域型住宅ブランド化事業について			
2/8 事業説明会 (出席予定者：玉田委員長)			
・ 内容については、2/18 の説明会にて説明頂くこととした。			
サポートセンターについて → 総会後に検討する。			
総会等 (説明会含む) の開催について			
日時：平成 2 5 年 2 月 1 8 日 (月) 会場：横浜市技能文化会館 多目的ホール			
・ 説明会を 13:30～15:00、総会を 15:30～16:30 に実施することとした。			
・ 説明会出席者については、平成 24 年度地域型住宅ブランド化事業の第 2 回採択グループ用のマニュアル、申請書等の様式を印刷して持参して頂くこととした。 (地域型住宅ブランド化事業実施支援室ホームページよりダウンロード可)			
・ 議案書 (案) について、タタキ台の提出があり、内容の検討を行い下記とした。			
○ 第 1 号議案 平成 25 年度事業計画案承認の件			
平成 2 5 年度事業計画 (案) (平成 2 5 年 4 月 1 日～平成 2 6 年 3 月 3 1 日まで)			
設計事務所と工務店のコラボで創る「新しいいえづくり応援団」の平成 2 5 年度事業を計画するため、規約に基づき下記の施策を設定する。			
第 1 本年度の重点施策			
1 . 長期優良住宅を普及・促進するための本会活動の充実			
2 . 本会、各委員会、サポートセンター、会員意識の共有化と会の活性化			

3. 会員の質的向上に関する調査研究、各種研修会、講習会の実施
4. 本会の事業を広めるため、広報活動、情報提供強化の実施

第2 事業計画

1. 長期優良住宅を普及・促進するための活動の充実
 - (1) 活力ある業務支援
 - (2) 魅力ある組織と実効性のある活動
 - (3) 本会活動の強化と質的充実
2. 本会、各委員会、サポートセンター、会員意識の共有化と会の活性化
 - (1) 各委員会、サポートセンターが連携した活動の充実
 - (2) 事業計画及び予算を的確に執行するため活動推進の強化

第3 会員の質的向上に関する調査研究、各種研修会、講習会の実施

1. サポートセンターの組織強化を図ると共にサポートセンターを中心に会員の知識、技術等の質的向上を図る。
 - (1) 基本講習会（会員必修講習）の実施
 - (2) 実践研修会（会員推奨講習）の実施
 - (3) マスタ・研修会（会員任意講習）の実施
 - (4) 長期優良住宅施工現場の見学会の実施
2. 各種資料・ソフトの開発
 - (1) 共通仕様書・共通内訳書の作成
 - (2) 施工マニュアル・チェックシートの作成
 - (3) 地域材比率算定ソフトの開発
 - (4) 維持保全計画書の作成
 - (5) 住宅一次エネルギー消費算定プログラムの開発計画
 - (6) 一次エネルギー消費量に係わる各種設備機器クロスチェック表の計画
3. 申請支援等
 - (1) 耐震・省エネ図書作成業務の実施検討
 - (2) 同上図書作成及び申請代行業務の実施検討
 - (3) 補助金申請時各種図書の事前チェック業務の実施検討

第4 本会の事業を広めるため、広報活動、情報提供の強化の実施

1. 広報及び情報提供
 - (1) ホームページ開設の準備
 - (2) パンフレット製作の準備
 - (3) 統一ロゴ制定の準備

○第2号議案 平成25年度収支予算案承認の件

<収入の部>

- ・会員必修研修 3,000円×3回×60名へ修正する。資料、テキスト代別とする。

<支出の部>

・会議費

役員会 1,500円×6名×4回、サポートセンター 2,700円×12名×13回

総財務委員会 2,000円×4名×4回、監事 1,500円×1名×1回

・研修会費用

会員必修研修 15,000 円×9 名

以上を修整し、収支バランスを見て玉田委員長が決定することとした。

○第3号議案 平成25・26年度役員選出の件

設計事務所と工務店のコラボで創る「新しいいえづくり応援団」 役 員（案）

役職名	名 前（会社名）
会 長	上原 伸一（有）上原建築設計事務所）
副会長	名取 邦亨（株）ナトリ建築設計事務所）
	永田 健治（株）湘南設計）
サポートセンター長	玉田 正人（TAMA設計）
同副センター長	大和田 優（DAITOC一級建築士事務所）
総財務委員長	折笠 幸男（有）折笠幸男建築設計事務所）
監事	市川 英美（株）市川屋）

上記メンバーに玉田委員長が打診し、了承を得ることとした。

○規約の改定について（改定日：平成25年 1月26日とした。）

・改訂点は下記とした。

・第5条 2 役員には、会長1名、副会長2名、監事1名、サポートセンター長1名、サポートセンター副センター長1名、総財務委員長1名を置く。

・第6条 2 総会は、会長が招集し、第4条の第1号から第3号までの各会員（以下「会員」という。）の3分の1以上の出席（委任出席を含む。）をもって成立し、総会の議事は出席会員の過半数の同意をもって決する。

・その他参考資料として、規約、組織図（案）、サポートセンターの業務計画（案）を入れることとした。

・司会：渡部委員、開会挨拶：玉田委員長、議長：（鎌倉支部福田様へ打診）議事録署名人：当日出席者より、議案説明：小林副会長、その他規約の説明等：玉田委員長 が担当することとした。

・出欠席票を作成し、議案書等と共にメールにて送付する。また、出席者は、議案書を印刷して持参して頂くこととした。

（3）今さら聞けないシリーズの資料作成（担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部）

工事監理チェックシート

→ 資料の提出があり、神永委員より説明された。
空欄については、使用する各事務所で記載して頂く。
本日までのもので、まとめることとした。
白石委員がモニターで使って頂き、修正点等を洗い出すこととした。

設計図書チェックシート

→ 玉田委員長が案を作成することとした。

（4）建築における環境問題について（担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉）

（5）地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成
（担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉）

（6）高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成（担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉）

→ (4) ~ (6) は時間が無く、検討出来ず。

(7) 「低炭素建築物認定制度」説明会の実施について (KBI より依頼)

- ・資料代、講師料、会場費及び会場設定地域、定員数等を聞くこととした。
- ・開催する場合は、4月を予定する。
- ・次回検討する。

(8) その他

- ・なし

次回 平成 2 5 年 2 月 2 1 日 (木) 15:00 ~ 17:00 神事協会議室にて

23～24 年度 第 20 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 3 月 2 1 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・×玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・×樋口(和) ・×大和田 ・○樋口(雅) ・×諸井 ・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 小林副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認			
②3/14 委員長会報告（小林副会長より） ・新組織に引き継ぐ内容等を出すこととなった。 ・会員増強パンフを作成するので、掲載したい内容（委員会の活動内容等）を提出することとなった。 ・市民向けパンフを作成するので、デザイン的に良い資料等を収集することとなった。 ・24 年度は、300 万円の赤字となる見込みである。			
③その他 ・各種講習会等の案内を配布し、参加をお願いした。 ・地域型住宅ブランド化の第 1 回基本編講習会を 4/20 10:00～12:00 で実施予定。 ・地域型住宅ブランド化事業の実績報告関係の連絡事項を参考配布した。 ・25 年度は、ポイントカードの利用を休止する予定。（押印はする）			
3. 議 題			
(1) 委員長会より次年度組織について			
・意見募集 ・省エネ等級 4 への法制化に関する対応について ・会員の為の業務支援ネットワークの構築（なんでも相談室等の設置）※新規開設事務所等が利用出来るもの。 ・木造用の設備仕様書の作成。			
(2) 「低炭素建築物認定制度」説明会の運営について（担当者決定）			
・時間：13:30～16:30			
①4/12（金）神事協会議室			
開会：上原会長、閉会：小林副会長			
②4/19（金）海老名市文化会館 会議室			
開会：棕副会長、閉会：永田副委員長（渡部委員）			
③4/26（金）神事協会議室			
開会：玉田委員長、閉会：神永委員			
・全ての会場の司会を磯部が行うこととした。			
(3) 今さら聞けないシリーズの資料作成（担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部）			
①工事監理チェックシート（神永委員より資料の提出あり）			
・設備の部分を修正し、ホームページへアップすることとした。 項目等は、ガイドラインに合致することとした。			

②設計図書チェックシート → 次年度へ

※ 継続して実施して頂くものとして、出すこととした。

(4) 建築における環境問題について (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)

- ・ 次回の委員会までに項目をまとめる、提案することとした。(担当：白石委員) 提出締切：5/20

(5) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)

- ・ 理念と実践ツールの作成。

(6) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)

- ・ ゼロエネルギー等もあるが、建物形状等が限定されてしまうのでは？と懸念される。
神事協として基本プランを何パターンか作成してはどうか？

(4) ～ (6) についても引き継ぎ事項として出すこととした。

また、(5) と (6) については、地域型住宅ブランド化のサポートセンターと協働する。

(7) その他

①会員増強パンフへの記載内容 (PR 内容) について

- ・ 省エネ等級4 についての技術的助言 (会員のみ実施)
- ・ 新入会員の声の掲載
- ・ 業務支援ネットワーク

②市民向けパンフについて

- ・ 次回までに良いと思われるパンフレットを収集し、提出することとした。

③新組織表と各委員会の構成について

- ・ 研修会は、企画委員会でまとめて実施して欲しい。
- ・ 委員会からのフィードバックの流れは、委員会→支部→会員であるが、なかなか情報伝達がうまくいかない。

④今後の委員会スケジュールについて

- ・ 4/23、5/29 (予備日) とした。

⑤その他

- ・ 確認申請書の書式が変更になっているが、神事協のホームページの情報は更新されていない。
更新して欲しい。(KB I 等の確認検査機関は情報が早いので、利用しては?)

次回 平成25年 4月23日 (火) 15:00～17:00 神事協会議室にて

23～24年度 第21回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成25年 4月23日(火)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ×神永 ・×白石 ・○樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・×諸井 ・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 玉田委員長より			
2. 各種報告 前回議事録の確認 ・市民向けパンフを作成するので、デザインの良い資料等を収集して来てもらうことになった。 その他 ・5/11 地引網大会の参加とお声掛けのお願いを行った。 ・木材利用ポイント事業の説明と説明会の案内を行った。			
3. 議 題			
(1)「低炭素建築物認定制度」説明会について(担当者決定)			
・4/12(満席) 4/19(満席)に行った講習会の申し込み状況を説明した。 ・4/26(金)に行う講習会の内容を確認した。 4/26(金) 神事協会議室 時間：13:30～16:30 開会：玉田委員長、閉会：神永委員 司会を磯部が行うこととした。			
(2)次年度組織に行って欲しい事業等について			
・技術調査委員会が行っている項目を引続き行って欲しいこととした。 今さら聞けないシリーズの資料作成 設計図書チェックシート 工事監理チェックシートに関してはホームページへアップ(前回決定済み) 建築における環境問題について(具体的内容は次回白石氏提案による) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書仕様書の作成 理念と実践ツールの作成 高断熱のチェックポイントおよびマニュアル作成 ・ と に関しては地域型住宅ブランド化のサポートセンターと協働してもらったこととした。 ・各省庁県都市町村の補助金の一覧があれば便利では？			
(3)その他			
市民向けパンフについて ・次回までに良いと思われるパンフレットを収集し、提出することとした。(担当：委員全員) その他 ・6月頃に防災認定サッシの値上げがある。 ・相模原支部では、KBI に対し、会員サービスを要望予定である。(例：長期優良の審査料割引等) ・横須賀支部では優良設計事務所という制度を作った。(現在は特にサービスはない)			
次回 平成25年 5月29日(水) 15:00～17:00 神事協会議室にて			

23～24 年度 第 22 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 5 月 2 9 日 (水)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ○神永 ・×白石 ・×樋口(和) ・○大和田 ・○樋口(雅) ・×諸井 ・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 小林副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②その他 ・低炭素建築物の認定制度についての資料配布。 ・伝統木造についての研修会案内を配布し、参加協力をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 今さら聞けないシリーズの資料作成 (担当：神永、樋口(和)、諸井、渡部)			
①工事監理チェックシート (神永委員より資料提出あり)			
・内容のチェックを行い、多少修正することとした。			
<共通>			
・自主検査記録に係る書類確認 → 自主検査記録等に係る書類確認 へ修正する。			
・～か との記述は、かを削除するか、～の確認 へ修正する。			
・その他、誤字脱字等についても修正する。			
・表紙を作成し、注意事項にガイドライン P.8 の内容を記載することとした。			
②設計図書チェックシート			
・具体的な内容を示し、引き継ぐこととした。(玉田委員長が作成する)			
(2) 「低炭素建築物認定制度」について			
・セミナー等の開催についても、引き継ぎ事項とし、長期優良住宅ブランド化グループのサポートセンターと協働することとした。			
(3) 次年度組織に行って欲しい事業等について			
・引き継ぎ事項、要望事項を修正し、委員へ送付する。			
・9/10 までに要望があれば提出して頂くこととした。(引き継ぎ、検討要望含む)			
(4) 建築における環境問題について (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉) → 検討なし			
(5) 地域の工務店が利用(申請)できる特記仕様書作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
・引き継ぎ事項に記載する。			
(6) 高断熱のチェックポイント及びマニュアル作成 (担当：白石、大和田、樋口(雅)、有泉)			
・引き継ぎ事項に記載する。			
(7) その他			

23～24 年度 臨時 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 24 年 11 月 5 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志 ・○玉田委員長 ・○永田副委員長 (委員) ×神永 ・×白石 ・×樋口(和) ・○大和田 ・×樋口(雅) ・×諸井 ・×有泉 ・○渡部		

1. あいさつ 小林副会長より

2. 各種報告 前回議事録の確認
その他
・各種研修会案内等を配布。

3. 議 題

(1) 地域型住宅ブランド化事業への申請について (募集開始 10/16～11/12)

応募書類のチェック等

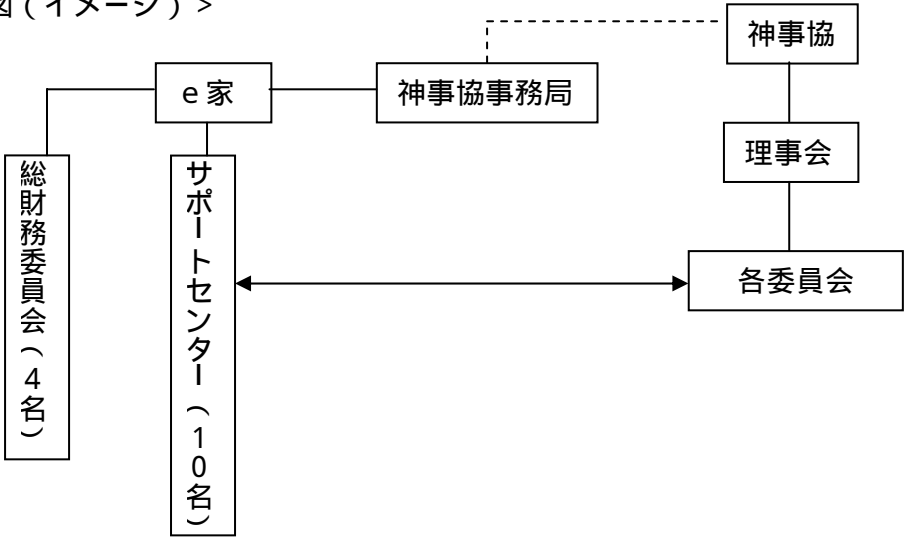
・書類不備な方へ、電話連絡し、早急に書類の提出を指示した。(書類提出：11/7 まで)
原木 1、製材 3、建材 6、プレカット 3、設計 11、施工 5

設計事務所と工務店のコラボで創る「新しいいえづくり応援団」規約 (修整)

・内容に修正があるため、現在のデータを小林副会長へ送付し、修正版の作成をお願いした。

サポートセンターについて

< e 家組織図 (イメージ) >



```
graph TD
    EK[e 家] --- TFC[総財務委員会<br/>(4 名)]
    EK --- SC[サポートセンター<br/>(10 名)]
    EK --- SKS[神事協事務局]
    SKS -.-> SK[神事協]
    SK --- RI[理事会]
    RI --- GC[各委員会]
    SC <--> GC
```

・ルール作り等を検討する。

その他

・様式 4-1 5.について

地域型住宅の供給予定戸数 12 戸 (うち長期優良住宅 6 戸)
根拠：様式 2-1-1 に基づき登録施工者に確認した数字である。
地域型住宅による地域材使用予定 90 m³ (うち長期優良住宅分 45 m³)
根拠：様式 2-1-1 に基づき登録施工者に確認した数字である。

・様式 2-1-3 について (地域における地域材に関する各認証制度等の登録・認定証の有無)

かながわ県産木材産地認証制度、かながわブランド県産木材品質認証制度、合法木材、静岡県産木材、しずおか優良木材認証 を記載し、提出された書類をチェックする。

(2) 次年度事業計画及び予算について

・下記とした。

< 収入の部 > 合計 832,500 円

J W - C A D 研修会

入門編 1 回 3,000 円 × 15 名 = 45,000 円

初級者 4 回 (RC 編 2 回、木造編 2 回) 3,000 円 × 15 名 × 4 回 = 180,000 円

天空率 1 回 2,500 円 × 15 名 = 37,500 円

中級編 2 回 2,500 円 × 15 名 × 2 回 = 75,000 円

イラストレータ 1 回 2,500 円 × 15 名 = 37,500 円

エクセル 1 回 2,500 円 × 15 名 = 37,500 円

今さら聞けないシリーズ (工事監理チェックシート) (企画業務委員会と共催)

5,000 円 × 20 名 = 100,000 円

建築における省エネ基準の研修会 会員 3,000 円 × 30 名 = 90,000 円

一般 5,000 円 × 10 名 = 50,000 円

最新木造建築物の見学会 (バス見学) (「住・緑・家」と共催) 6,000 円 × 30 名 = 180,000 円

< 支出の部 > 合計 555,000 円

J W - C A D 研修会

入門編 1 回 2,000 円 × 15 名 = 30,000 円

初級者 4 回 (RC 編 2 回、木造編 2 回) 2,000 円 × 15 名 × 4 回 = 120,000 円

天空率 1 回 2,000 円 × 15 名 = 30,000 円

中級編 2 回 2,000 円 × 15 名 × 2 回 = 60,000 円

イラストレータ 1 回 2,000 円 × 15 名 = 30,000 円

エクセル 1 回 2,000 円 × 15 名 = 30,000 円

今さら聞けないシリーズ (工事監理チェックシート) (企画業務委員会と共催)

会場費 10,000 円、講師料 15,000 円、人件費 1,000 円 × 5 名 = 5,000 円、諸雑費 10,000 円

印刷費 10,000 円

建築における省エネ基準の研修会

会場費 10,000 円、講師料 30,000 円、人件費 1,000 円 × 10 名 = 10,000 円、諸雑費 50,000 円

印刷費 45,000 円

最新木造建築物の見学会 (バス見学) (「住・緑・家」と共催)

バス代 100,000 円、諸雑費 20,000 円、交通費 20,000 円

< 会議費 > 合計 円

会議費 10 回 (8,12 月開催なし) 2,500 円 × 110 名 = 275,000 円

(3) その他

11/15 開催の委員会は、中止とした。中止案内を早急に実施する。

次回は、12/20 15:00 ~ とし、終了後に忘年会を実施する。

(議題 : チェックシート、地域型住宅ブランド化申請の報告等)